

## 第三者の目による産学官連携共同研究の 深化を目指して



本田 民雄  
九州バイオリサーチネット

九州バイオリサーチネットの事務局長ですが、コーディネーターも兼ねています。

九州バイオリサーチネットには、私も含め4名のコーディネーターがおり、農林水産省の競争的研究資金等に応募する共同研究の形成を支援しています。また技術シーズと研究ニーズのマッチングの場としてセミナー等も開催しています。

このため、活動の大半は、事務局長としてコーディネーターが活動しやすい体制の構築や活動方針の策定、さらにはセミナー等の開催やホームページ・メールマガジンによる情報発信等を行っています。

その合間を縫って、コーディネーターとして、研究者や企業の皆さん方からの相談をお受けしています。特に、事務局にお出で頂く面談活動は殆ど一手に対応しています。

コーディネーターとしては3年目ですが、農業を中心として第一次産業の行政や試験研究に40年近く携わり、また農家出身でもあることから、現場的にも政策的にも求めるものが分かりますので、相談内容をお聴きしたうえで、私も含めて担当するコーディネーターを決めています。

23年度にコーディネートした案件としては、「釜炒り茶における新型殺青機を用いた高能率安定生産技術の開発」「柑橘新品種を利用した加工専用果実栽培体系の確立」等があります。いずれも実用化事業へ応募されたものです。

前者は、9月までに研究の狙いや共同研究機関の絞り込み、民間企業の追加等を助言するとともに、10月には独法や公設試を集めた課題別検討会を開催し課題の再構築を支援しました。11月には鹿児島県農業開発総合センター茶業部を訪問し最終協議するとともに、2月にブラッシュアップを行い、課題の熟度向上のお手伝いをしました。コーディ

ネットにあたっては、研究の狙いの絞り込みに特に留意しましたが、研究機関相互のしがらみ等があり達成に予期せぬ時間がかかりました。

次に後者は、10～12月に面談やメールによるやりとりを通じて、実需者の追加、カンキツ省力多収栽培技術の経営試算を行うよう助言するとともに、1月にブラッシュアップによる応募支援を行いました。特に、生産から加工販売までのビジネスモデルの実現性に留意してコーディネートを実施しました。

いずれもしがらみのない第三者の立場であるからこそ、思い切った提言・助言が出来、課題の熟度向上に繋げることができるのではないかと考えています。今後も、この立場を活かしながらコーディネート活動を行い、現場課題の解決に繋がっていきたい。

最後に、九州地域の農林水産業・食品産業は、労働力や生産力等の面で脆弱化しており、問題が山積んでいます。その打破には行政施策は勿論ですが、新技術の展開が求められています。皆さんがお持ちの技術シーズ、研究ニーズのマッチング等により、産学官連携による共同研究形成を支援し、九州の農林水産・食品分野の活性化のお役に立ちたいとの想いで活動しています。農水省の競争的研究資金等へ応募されたい方は是非ご相談下さい。

Email : k-baiteku@alpha.ocn.ne.jp

電話番号 : 096-346-2040

氏名 : 本田 民雄 (ほんだ たみお)  
専門分野 : 生産環境・行政一般  
所属・役職 : 九州バイオリサーチネット 事務局長  
略歴 : 元熊本県農業経営技術課長、元熊本県農業研究センター次長、元熊本県立農業大学校校長

メッセージ:

九州バイオリサーチネットは、専門分野が異なる4名のコーディネーターがおり、農林水産・食品産業分野の広範な相談に対応できます。皆様のご相談をお待ちします。